

環境システム計測制御学会

The Society of Environmental
Instrumentation,
Control
and Automation

年会費

会員種別	個人	学生	シニア	賛助(企業)	公益(官公庁・教育)
年会費	5,000円	不要(*1)	5000円(*2)	1口 100,000円 (原則として2口以上)	30,000円

*1 学生会員(無料)には学会誌を配布しません(ウェブサイト閲覧のみ)

*2 退職者(65歳以上)は永久会費(一時金20,000円)の納付により以降の年会費は不要です

環境システム計測制御学会

The society of Environmental
Instrumentation, Control and Automation

事務局
〒573-1116 大阪府枚方市船橋本町1-775 (株) Atalacia 内
TEL 072-807-3890 FAX 072-807-3898
HP: <http://eica.jp/> E-mail: info@eica.jp

編集事務局
〒601-8316 京都市南区吉祥院池ノ内町10 明文舎印刷(株) 内
TEL 075-681-2741 FAX 075-681-2742
E-mail: edit@eica.jp

- 本カタログに関するお問合せ、資料の請求は事務局までお願いします。
- 記載事項は予告なく変更することがありますので、適宜、お問合せください。

EICA

EICAは計測・制御・情報解析を基盤技術とし、さらに発展著しいICT(情報通信技術)を加えることで、さまざまな環境問題の解決に貢献します。

EICAは、1991年、上下水道・廃棄物・大気汚染など、環境分野の計測・制御・自動化技術を担う『産官学連携の学会』として創立され、発展してまいりました。日本の環境問題はこの半世紀に大きな進展がみられましたが、依然、土壌・地下水汚染、水域の富栄養化等の問題は潜在するとともに、残留医薬品などの新たな汚染への対応が必要になっています。また、上下水道・廃棄物処理施設などの環境インフラは、エネルギー・資源問題の制約から新たなシステムが求められるとともに、既存施設においては老朽化が進み、その維持管理・アセットマネジメントの効率化は喫緊の課題です。さらに、海外新興国では水不足・環境汚染が深刻化し、日本が蓄積してきた技術・ノウハウを利用する問題解決が求められています。

官 産 学
夢の実現



歴史

- 1980年 「第1回下処理の自動制御と水質の計測監視に関するワークショップ」開催
- 1989年 『EICA環境システム計測制御自動化研究会』設立
- 1993年 「第1回研究発表会(EICA リレー研究発表会)」開催
- 1996年 研究会名称を『EICA環境システム計測制御学会』へ変更
- 1998年 研究発表会名称を『EICA研究発表会』に変更
- 1999年 日本学術会議 学術研究団体に登録
- 1999年 研究発表会名称を『環境システム計測制御(EICA)研究発表会』に変更
- 2004年 「第16回 研究発表会併設 IWA/ICA国内プレ&日韓ジョイント国際ワークショップ」開催
- 2005年 若手会員の研究活動を支援する『未来プロジェクト』発足
- 2012年 「東日本大震災調査研究報告書」発行
- 2014年 「東日本大震災調査研究報告書(監) 米国ハリケーン・サンディとの比較」発行

活動

研究発表会	年1回	基礎研究、製品開発、事例紹介など
学会誌発行	年4号	技術論文、技術紹介、特集記事、研究発表会・総会報告
セミナー・講演会 勉強会・交流イベント	年1回	タイムリーな話題、異業種交流、オープンイノベーション活動など
視察・調査ツアー	適宜	国内および海外の視察・市場調査・技術調査
若手活動支援	毎年	産学官若手研究者・技術者の活動支援
論文評価	随時	学識者による論文指導・査読
国際水協会	随時	IWA/ICAセッションへの参加・投稿支援

対象分野

Subject Areas



- (A)水道・下水道
- (B)用水・排水
- (C)汚泥再生
- (D)廃棄物利活用
- (E)環境モニタリング(大気・水・土壌)
- (F)再生可能エネルギー
- (G)その他